

# 緑の風

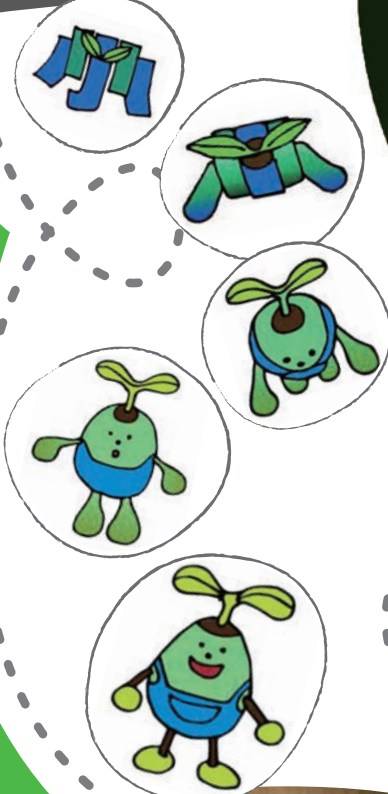


こんにちは、みどりんです。



波の合間には  
烏帽子岩も。

校章からむくむくむくっと  
誕生するみどりん!



毎朝必ず通る下駄箱で  
『はきものを  
そろえよう』と  
話しかけているよ!

～はきものをそろえる～  
はきものをそろえると、心もそろ  
う。心がそろうと、はきものもそろ  
う。ぬぐとぎにそろえておくと、  
はくときに心がみだれない。  
だれかがみだしておいたら、  
だまってそろえておいてあげよう。  
そろえればきつと、  
世界中の人の心もそろえよう。  
作者: 長野県四輪寺 藤本寺住職

3年1組の大久保先生が  
はってくださいました。

そろっていると  
気持ちがいいね

よろしく  
ねっ!



聞き方・話し方ステップシート



ステップシート

2年前、茅ヶ崎市の教育委員会の研究指定の発表がありました。  
3年かけての研究で、その成果として学校でステップシートを開発。  
その際『子どもが注目しやすいキャラクターがあるといいね』という  
神本元校長先生のつぶやきから『教頭先生、何か考えて!』と  
教頭先生に白羽の矢がたったという訳です。  
そして小野教頭先生の手によりみどりんが誕生しました。





先生の好きな時間を教えてください。  
 鉄道を使つての旅行が好きなのですが、今はなかなか出かけることができません。その代わり、テレビの旅番組を見て、「行ったつもり」になっています。  
 西片先生、ありがとうございます！



西片尚之 校長先生

先生は小学生の頃、どんなお子さんでしたか？  
 意外と(っ)まじめな小学生でした。教科では社会(特に歴史)が好きでした。昔は好き嫌いが多く給食が苦手、掃除の時間や昼休みになつても、ずっと食べさせられたことを今でも覚えていますが、毎日の給食がとても楽しみでした。  
 スローガンの内容は、至極「当然」のことですが、「当然」って、実際に行うのはなかなか難しいことです。例えば、目の前にゴミが落ちていする。当然、拾うことはできる。でも、見て見ぬふりをして通り過ぎてしまふ。そんなことって実際ありますよね。まさに、「当然非当然(トウゼンハトウゼンニアラズ)」です。そんなとき、立ち止まり「ミを拾う」「当然」であることが大切です。そして、子どもたちに限らず、大人も常に自身に問いかけをし、変容を実感して欲しいと思います。「当然」、私自身も…。

緑小の子どもたちの印象はいかがですか？  
 緑が浜小学校は、初任から数えて7番目の学校です。何校も経験する中で、「子どもたちはどこでもみんな一緒」が基本と考えています。ただ、始業式や入学式を通して、「話をしっかりと聞くことができる子どもたちである」ということが、第一印象として強く残っています。学校経営スローガン「できることはしよう できることをふやそう」ことも、そして「おとなも」が心に残っています。どんな想いが込められていますか？



## 先生！質問です！

2017年度第1号は、今年度新たに着任された西片校長先生です！  
 いったいどんな先生なのかな…。ちょっとドキドキしながら、お話を聞いてみました！

## 5年生キャンプ / 56人で100%超え！



5月30・31日、「足柄ふれあいの村」へキャンプに行ってきた5年生。  
 1泊2日で、どんな体験と変化があったでしょう？

今年はどうなキャンプでしたか？  
 実施日を例年よりも遅くしたのが功を奏し、天候に恵まれた2日間でした。大きな事故もケガもなく、欠席者もなく、学年56名全員そろって思い出を作ることができました。高学年として良いスタートを切れたと思います。  
 キャンプを終えて、子どもたちにはどんな変化がありましたか？  
 準備は大変でしたが、達成感を得たことで、やればできるという自信につながりました。また、自分のことはもちろん、友達のために動く大切さを学びました。一人ではできないことも、みんなで協力すればできる。自分の限界を超え、100%以上の力が出せることに気づけたと思います。成功の裏には努力があること、そしてクラスの壁を超え、みんなで楽しむことの大切さを知りました。

緑小名物・火の神登場に、どよめきと歓声上がる中、キャンプファイヤースタート！

全員でレクや、男女で恥ずかしそうにオクラホマミキサーも。

ナイトウォークは、怖くて泣く子もいましたが、みんなで歌ったり励まし合いながらゴール。



## 子どもたちの声



HIくん

キャンプファイヤーは、学年全員が1つになって楽しむことができ、ふだんあまり話さない人とも仲良くできました。カレー作りやコテージ清掃では、みんな自分から率先して行いました。自分の仕事だけでなく、友だちの仕事も手伝い、声を掛け合って協力していました。協力しあうことはとても大切だと思いました。



K.Kくん

一番思い出に残ったのはナイトウォーク。真っ暗な中から今井先生がいきなり出てきてびっくりしました！泊まった部屋で、朝、寝具を数えたら枕カバーが1つだけ無くなっていました。先生たちも来てみんなで探したら、なんとT君のリュックサックの中から出てきました！



K.Kくん

一番思い出に残ったのはキャンプファイヤーです。スタンプが大変だったけど、たくさん練習したので、面白くできました。

## 1年生を迎える会 / 今年も新しい緑っ子がやってきた

5月12日(金)の1時間目、体育館に全校生徒が集合！  
 今年も、5・6年生の仲間づくり委員が中心となって「1年生を迎える会」が行われました。  
 ♪あるこ～あるこ～♪の音楽と共に、6年生に手を引かれ、ピカピカの1年生が入場。  
 仲間づくり委員代表の、そして校長先生の挨拶で、会がスタートしました！



6年生に手をつないでもらって1年生入場！



入学おめでとう！  
 学校楽しいよ。一緒に遊ぼうね。  
 友達たくさんできるよ。

最初は、2年生から1年生に向けた「歓迎の言葉」と共に、全校生が協力して作ったという手作りのメダルが、1年生全員の胸にかけられました。そのあとは329人全員、さらに先生たちと一緒に、みんなで「自己紹介じゃんけん列車」「カタチをつくらうゲーム」「まねして踊らうゲーム」など、いろいろなゲームをして目一杯楽しみました。1年生の皆さんはこれからの1年、ここにいるお兄さん、お姉さんにいろいろなことを教えてもらったり助けってもらったりしながら、楽しく過ごせるといいですね！上級生のみなさん、よろしくお祈りします！



まねして踊らう



2年～6年生全員で協力して完成させたメダル



勝ててうれしいです。



<仲間づくり委員>のみなさん。お疲れさまでした！



今日はありがとう。いっぱい遊んでください。

これからよろしく。面白かった。

みどっこ寄席のはじまりはじまり♪  
 6月16日、体育館は落語舞台に早変わり！  
 これは、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業―巡回公演事業―」によるもので、今年「ちびっこ寄席」のみなさまが大阪から来てくださいました。公演に先立ち、5月10日に6年生のみなさんが落語ワークショップを受け、この日に向けて練習、準備をしてきました。  
 まずは落語教室。扇子と手ぬぐいを使い、さまざままなしくさがある中、「うどんを食べる」しぐさを6年生の女子が挑戦。「ズズツ」という音の出し方を教わりながら、おもしろいようにうづんをすすっていました。お囃子紹介では、ゆうれいが出てくる場面を太鼓の音に合わせて6年生女子が実演。堂々とした演技でした！  
 南京玉すだれでは、「トアさて、さて、さてさてさてさてさては南京玉すだれ♪」のリズムに合わせて、すだれが鉄棒や東京タワー、目玉おやじ、しだれ柳などに変身！今回はこれを6年生の男女6人が挑戦。なんと1ヶ月ほど毎日練習してきたのだそうです。みんな見事な南京玉すだれを披露していました。  
 そして「大喜利」では、なぞかけに5人の男子がチャレンジ。「ネコとかけてみて、悲鳴をあげてる人と解く。」「その心は？」「キャツと言おうでしょう」などと司会者と掛け合いました。  
 紙切りでは、下絵のない白い紙があつという間に舞妓さんやライオンやドラゴンに切り抜かれ、子どもたちもびっくり！3年生の男子が実演に挑戦し、切り抜いた卵を、女性紙切り芸人・林家花さんが亀に変身させ、会場は拍手喝采でした。  
 落語は上方(大阪発祥)と江戸(江戸発祥)の2つが披露され、初めて聞く落語にみんながラゲラ大笑い。約1時間半のみどっこ寄席は、子どもたちの笑い声が響き渡っていました。



プロに指導してもらいます。

白い紙があつという間にいろいろなものに変身！

はやし お囃子で使われる楽器にみんな興味津々！

練習は大変だったけど楽しかったです



## P.G.T.紹介コーナー ～どんなお仕事をしているの？～

6月7日に行われたP.G.T.の第3回定例会取材してきました。  
役員さんってどんなお仕事してるんだろう?と気になっていたのですが、定例会に出てみてびっくり。

各ボランティアの調整だけでなく、各行事の調整&当日スタッフ、地域団体の会議に出席、地域行事への参加等々、そのお仕事は実に多岐に渡っていました。

子どもたちが地域の中で安全に安心して過ごせるように意見を活発に出し、話し合ってくださいています。時に笑いも混じりながら、みなさん楽しそうなのが印象的だった定例会。  
校長先生、教頭先生も出席され、みんなで学校を良くしていこうという雰囲気を感じました。



### P.G.T.役員 から一言

私は会計監査の他に「母親と教職員の会」という他校との交流会にも行かせてもらっています。他校の方と子どもたちに関する様々な問題について一緒に考え、意見交換し、定例会でその内容について報告しています。役員になって気付いた事は、会員の多くの皆さんがボランティアのお仕事を積極的に引き受け、気持ち良くやって下さる事です。そういう方々に支えられてこそ、私たちも励まされ頑張ることができます。(山川麻紀子)

今年度書記を担当しています、米倉です。書記のお仕事は、毎月行われている定例会の議事録、毎月のP.G.T.便りの他に各ボランティアのお便り作成・印刷などのお仕事をしています。みんなと役割分担しながら楽しく仕事を進めています。役員になってよかったことは、校長先生や教頭先生のお話を通して、他学年の様子を知ることができることです。(米倉真弓)

今年もやります!  
流しそうめん!



6月17日に開かれた発足会でパパボラ2017年度がスタートしました。今年もみどりの子夏祭り、運動会の準備、片付けを始め、様々な活動を通じて子どもたちの「楽しい!」を応援していきます。昨年のみどりの子夏祭りで好評だった流しそうめんも、今年はパパボラによる手作りキットで実施します。

遊びに、仕事に忙しいパパも、暇を持て余してるパパも、ちょっと身体がなまってきたなと感じてるパパも、子どもと何か繋がりが欲しいなと思ってるパパも。堅苦しい決まりごとはありません。時間に都合が合った時だけでOKです。全部の活動に来られなくてもOKです。子どもと一緒に参加でもOKです。スタンスは「ゆる〜く、楽しく、でもちょっとだけ頑張る」。ぜひ軽い気持ちで参加してみませんか?

パパボラ2017年度 代表 嶋矢 五月



メンバー募集!

広報ボランティアは、ハードル高くないですよ。

編集後記

2017年度の広報ボランティアの活動が始まりました!

今年度は、昨年度より二人もメンバーが減ってしまいました。(お二方とも、やむを得ない事情なので、泣く泣く…です。)そんなわけで、メンバーを随時募集します!

ところで、「広報ってハードルが高そう…」と思われるようなので、説明させてください。

そう見えるのは、誌面に仕上げる作業だけです。その作業をするには、ある程度パソコンのノウハウなどがないと大変かもしれません。

しかし、そこは現メンバーでなんとかなります(もちろんできる方も大募集!)。今、広報ボランティアに必要なメンバーは、取材をお手伝いして下さる方なのです。ほんのちょっと時間を作っていただくことにはなりますが、子どもたちの様子取材し、文章にまとめていただくだけなのです。「文章」と言っても、難しく考えないでください。短くていいんです。

取材をした時にご自身が感じたことを書いていただくだけなのです。

文章力とか難しいことは全く関係ありません(実際私も文章力なんて皆無です。)

毎日子どもたちが生活している学校が、どんなところか、ぜひ一緒に紹介していきましょう。

メンバーに加わってもいいな、と思ってくださったら、担任の先生にご一報ください。お待ちしております♪

みなさんお待ちしてま〜す!



吉竹



初鹿



人見



大西



大西パパ